

---

# 友達が出来るまで

城間 奇成

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

友達が出来るまで

### 【Nコード】

N5583D

### 【作者名】

城間 奇成

### 【あらすじ】

友達が出来るまでそれは「出会い」は人それぞれ

年が開けた間もない日、今日は、始業式。短いようで長い冬休みが終わり教室では久しぶりに会う友達同士、冬休み何したか話が盛り上がる。

「おい、あれ見たか？」

「あれって何だよ？」

「かくし芸、やっぱ最初が一番だったな」

「あゝごめん。その時、神社にいった」

「えっ？夜だよ？もしかして彼女と？」

「違うよ。受験中の兄貴とだよ」

「おまえもしかしてブラコン？」

「そんなわけネエよ」

「アハハハハ」

周りが笑う。

「じゃおまえは？」

「僕は、オーストラリアだから日本の番組は見れなかったな」

「なんだそりゃ」

「贅沢く金持ち」

「ところでおまえは？おまえだよ」

私は、いつも本を読んでいる小説をよく言う変わっているヤツに声をかけた。

「どうせいつもの本だよ」

別のヤツが代弁する。

「ああそつだよ。糞くだらない時間の無駄遣いにしかない才能の全く感じられない屑な小説だよ」

私は、長い文章を全く噛まないで読んだのですこし驚いた。

「そんな言い方ないんじゃない？作者が可哀相だよ。見ず知らずの

読者のくせに」

「作者に謝れ」

「そつだそつだ」

別のヤツもそれを聞いて嘸し立てる。

「作者ね - 謝る必要もないなあんな屑」

「一体どんな小説だよ」

私は、思わずそれがどんな小説なのか気になった。

「ネットに投稿してあるファンタジー小説なんだけど誤字脱字が多いし、読んでいて全く面白なくて」

「何て言う作者が書いているの？」

「作者？」

「そつだよ作者だよ」

「・・・えっ？」

「何だよ。知らないで非難するのかよ」

「いや、知っているけど・・・」

「誰だよ」

「・・・僕だよ」

僕は、ボソツと答えた。

少しの静寂が流れて、教室が騒がしくなった。

「おい、あいつ小説書いたんだって」「へー以外」「じゃ将来の手塚賞?」「それマンガの賞だよ」「人って見た目によらないね」

周りが騒がしくなり、僕は、思わず席を立ち教室を出た。

私にも似たような経験があつた。中学のときサッカーで名選手でよく回りから未来のサッカー選手と嘸し立てられた。だから、人事には思えなかった。私は、僕を追いかけた。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5583d/>

---

友達が出来るまで

2010年11月16日00時16分発行